

山梨県出身隊員の紹介(航空自衛隊)

自衛隊山梨地本便り

数多くの隊員を擁する自衛隊は、陸上・海上・航空それぞれが日本全体をいくつものエリアに分けて多くの拠点を置いていきます。山梨県から入隊した隊員も全国各地で勤務しています。今月号では、航空自衛隊に入隊した県出身隊員の声で、その職務の一部を紹介いたします。

1 第7航空団整備補給群補給隊
3等空曹 湯浅 友美子(日本航空高校卒)



私は現在、航空自衛官として茨城県にある第7航空団・百里基地で勤務しています。主な仕事は補給の担当者として基地で使用する戦闘機の部品や被服等の請求管理をしており、部隊等に物を渡した際に「ありがと」と言われるとやがたい感じます。また、通常業務の他にも臨時勤務として、茨城地本や自衛隊音楽まつりにも参加しました。



地本での勤務は、民間の方と話す機会が多く様々な意見を聞くことができ、陸・海の自衛官と一緒に働く中で多くのことを学ぶことができました。音楽まつりでは自衛隊だけでなく防大生や外国の軍楽隊も参加し、より多くの方と交流を深めることができ、たくさんのお客様の前で演技を披露することができました。



自衛隊は、訓練等が厳しいイメージが強い方も多いと思いますが、その人の能力にあわせて段階的に訓練するため、自然とできるようになります。自衛官にならなければできない様々な経験をする事ができますので、ぜひ実際に働いて

ている方に話を聞いてみてください。

2 警戒航空団第2整備群整備隊
3等空曹 佐藤 伸哉
(桂高校・現都留学園高校卒)



レーダーとして造られた機体であり、大きな円盤が特徴です。普段の業務は、毎日の点検や補給、部品交換や故障修理などを行っています。勉強する事がとても多く大変と感じる時もありますが、私が整備した機体が空を飛び、日本の防衛に貢献していることはとても誇らしく思います。



現在、私は山梨県と富士山とともに静岡県にある浜松基地で航空自衛官として勤務しています。職種は航空機整備員であり、担当する機体は早期警戒管制機E-767、通称AWACS(エーワックス)と呼ばれる機体です。通常の旅客機をベースに空飛ぶ

また、このAWACSは海外で訓練することも多く、私も過去にアメリカ合衆国アラサカ州で1か月ほど勤務したことがあります。普段行くことのない土地、会うことのない人々と触れ合うことができるのも自衛隊の魅力なところですね。

山梨の若い皆さん！自衛隊には、様々な職種があるので、きっと皆さんに合う仕事があると思います。同郷の後輩隊員と共に働くことを楽しみにしています。



(発行) 自衛隊山梨地方協力本部 募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591

山梨地本 Twitter



Instagram



総合的な学習の時間を支援



山梨地本は5月21日(金)に、甲府合同庁舎において小菅中学校の総合的な学習の時間を支援しました。到着後、迷彩服に着替えた参加者は地本担当者の説明を受け、自衛隊の基本的な動作、自衛隊体操の体験に加え、救急法体験や制服試着を行いました。

体験中、自衛隊について色々尋ねてみたところ、事前に勉強してきたもったところに基づいてハキハキ答えてくれました。



また、体力を使う事を経験したいという本人の希望により、陸上自衛隊の自衛隊体操を行いました。最初は慣れない動きに戸惑った様子でしたが、

たが、一生懸命に体を動かし汗を流しました。



救急法体験では、止血帯(CAT)を使った緊縛止血の要領を体験し、自衛隊において応急処置の教育がしっかりと行われている事を改めて認識してもらったことが出来ました。終了後は「自衛隊についてよく知ることが出来ました」との感想をいただきました。

山梨地本では、総合的な学習の時間について随時対応しています。お気軽にお問い合わせください。

採用試験受付中!

自衛官 募集中



一般曹候補生
各部隊の中核となる自衛官を育成!

- 資格: 18歳以上33歳未満の者
- 受付期間: 7月1日~9月6日まで
- 1次試験日: 9月16日~19日



航空学生
大空で活躍する自衛官を育成!

- 資格: 海/18歳以上23歳未満の者
空/18歳以上21歳未満の者
- 受付期間: 7月1日~9月9日まで
- 1次試験日: 9月20日



自衛官候補生
将来のキャリアアップを目指す!

- 資格: 18歳以上33歳未満の者
- 受付期間: 試験日の一週間前まで
- 試験日: 7月17日・9月中旬
- ※年間を通じて随時募集しています
- ※試験日は決定次第お知らせいたします

【お問い合わせ先】山梨地方協力本部：055-253-1591 大月地域事務所：0554-22-1298

甲府募集案内所：055-228-6427 同巨摩地域担当：055-283-5150 【HP】https://www.mod.go.jp/pco/yamanashi/



県内各地で広報活動を実施

自衛隊山梨地本便り

【発行】山梨地方協力本部
自衛隊山梨地本
募集課広報班
山梨県甲府市丸の内1-1-18
甲府合同庁舎
055-253-1591



5月15日(土) 山梨地本は、ヴァンフォーレ甲府とブラウブリッツ秋田の試合が行われた小瀬スポーツ公園陸上競技場において、広報活動を実施しました。



本広報は、山梨県と企業とが締結している包括的連携協定を活用させていただく形で実施されるもので、

5月30日(日)には、アイメッセ山梨において開催された第12回ウルトラマーターフエスティバルin甲府において広報活動を実施しました。本イベントでの広報活動は山梨地本として初めてでしたが、当日は数多くのカスタムカーが終結した会場の入り口に、自衛隊の1/2トトラックが展示されるとともに、来場された方々に自衛隊にちなんだグッズやチラシを受け取っていただきました。



普段は目にする機会の少ない展示品ということもあり、来場者の方々からは「本当に南極の氷なのか」といった質問や「ペンギンが大きくて驚いた」といった感想が寄せられました。



ハーフタイムの時間には、隊員と山梨地本マスコットキャラクターの「ふじくん」「かえでちゃん」が一緒に競技場内を練り歩き、自衛隊及び山梨地本のPRを行いました。



同会場で行われたトークイベントでは、自衛隊の紹介に加え、今後のイベントにも地本が参加する旨を予告していただきました。

「今度は戦車の展示ができないか」といった声もあり、反響の大きさが感じられました。

同日、大月地域事務所は、河口湖ショッピングセンターBELLにおいて広報活動を実施しました。今回から



配布を始めたシリーズ化した缶バッジは、幅広い方に好評をいただきました。その他の自衛隊にちなんだグッズを含めて、多くの方に受け取っていただき、予定した時間より早く配布を終了しました。

同店舗では、5月24日(月)から30日の間、パネル展も実施され、山梨地本マスコットキャラクターが自衛隊全般と陸・海・空自衛隊の各職種について紹介しました。

7月の広報活動は、1日(木)から13日(火)まで甲府駅北口ペDESTリアンデッキでパネル展を、9日(金) 県内主要駅、18日(日) イオンモール甲府昭和でグッズ配布を行う予定です。18日は、シリーズ化した山梨地本マスコットキャラクターの缶バッジも配布予定です。会場でお待ちしていますので是非お声がけください。



一般曹候補生・自衛官候補生採用試験を実施

山梨地本は今年度最初となる、各部隊で活躍する現場のスペシャリストとなる「曹」を目指す人のための制度である一般曹候補生及び採用後に「自衛官候補生」として所要の教育を経て、任期制自衛官に任官し、各部隊で活躍する制度である自衛官候補生採用試験を実施しました。

5月21日から23日の午前に一般曹候補生第1次試験、午後には自衛官候補生筆記試験を実施しました。受験者は真剣な表情で試験に臨んでいました。

引き続き、6月12日及び13日には、自衛官候補生の口述試験と身体検査を実施し、6月19日及び20日に一般曹候補生第2次試験を実施しました。口述試験では、「災害派遣に関心があり、困っている人の役に立ちたい」など、それぞれの思いをアピールしていました。

なお、一般曹候補生第2回試験は9月に予定されており、受付は7月1日から開始します。また、自衛官候補生の受付は、年間を通じて受付を行っています。詳しくは山梨地本までお問合せください。



装備品紹介(除雪のための器材)



陸・海・空自衛隊には、様々な職種・職域があり、それぞれの職種・職域の隊員が協力して任務を遂行しています。例えば、航空機が主力である航空自衛隊でも、航空機を飛ばすためにはパイロットだけでなく、航空機整備や航空管制の協力が不可欠です。

ところで、飛行場に雪が積もった場合、どうやって航空機を飛ばせるようになるかご存知ですか。航空自衛隊の中でも、滑走路や建物の維持補修を行う施設の職域では、様々な除雪のための器材を保有し、運用しています。特に北海道や東北地方などの積雪地の基地では、除雪のための器材は、重要な装備であり、冬季においては飛行場の除雪を24時間実施できる態勢をとり続け、いつでも航空機を飛ばせることができるように備えています。

このように自衛隊では任務完遂のため、様々な職種・職域の隊員と多種多様な装備品が、日々活躍しています。

